

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

提出区分		実績	整理番号	1	課題区分	C	令和7年3月31日
横断的な課題		信州まつもと空港の利用促進と拠点整備の推進					松本地域振興局
地域重点政策		信州まつもと空港の利用促進と拠点整備の推進					
実施機関		松本地域振興局			担当課	所属	企画振興課
事業名		信州まつもと空港利用振興事業				電話	0263-40-1902
					E-mail	matsuchi-kikaku@pref.nagano.lg.jp	
事業の概要	目的 (目指す姿)	平成28年6月に、今後10年間を見据えた空港の目指す姿とその実現に向けて策定された「信州まつもと空港の発展・国際化に向けた取組方針」に基づき、空港利用者の増加に向けた事業や、空港を起点とした観光振興、賑わい創出を図るための事業を実施し、空港及び松本地域のさらなる活性化と魅力発信を推進する。					
	現状と課題	<p>(1)現状 ○空港利用状況 信州まつもと空港の利用者は、令和4年度には22万8千人と平成9年以来25年ぶりに20万人を超えるまで増加した。令和5年度においても前年度を上回る状況であり、旅行需要の順調な回復等に伴い、空港利用者也増加している。</p> <p>○レンタカー利用状況 空港を利用して来県される方のうち、周遊観光を目的とされる方においては、空港からの移動手段としてレンタカーを利用される傾向や意向が高い(空港利用アンケート調査やレンタカー会社への聞き取りによる)。また、空港が所在する現地機関として、空港周辺地域の周遊観光や地域経済の振興を推進するにあたり、現在の空港からの二次交通環境においては、レンタカーによる移動が優位性や機動性が高いことから、この利用促進を図っているところである。空港からのレンタカー利用者は、令和3年度には前年度比133%の約3,700台、令和4年度には同150%増の5,600台と増加傾向にあったが、令和5年度においては、レンタカー会社の人員不足等によるカウンター業務の休止等により、前年度比約64%の3,600台と供給が不足している状況である。レンタカーの利用促進の取組としては、令和3年7月から空港周辺地域の観光情報や特典提供施設等を掲載したクーポン付きのドライブ観光パスポートを作成し、空港からのレンタカー利用者を対象に延べ約12,000部を配布したほか、令和5年度には、これをツールとしたさらなる滞在型の周遊観光振興を図るため、掲載エリアの拡大やデジタルクーポンの導入による利用情報のデータ化等、同パスポートの改訂を行った。</p> <p>(2)課題 ○空港利用状況 令和5年度上半期の定期便の路線別利用率では、神戸便が61.1%と最も低い。令和5年度に実施したアンケート結果や空港利用状況では、神戸便及び伊丹便による関西方面からの本県への空路による路線認知や空港利用が低迷している状況にあり、引き続き、同エリアにおけるPR活動を展開する必要がある。</p> <p>○レンタカー利用状況 空港からのレンタカーの貸出において、一部レンタカー会社の休止等により供給が不足している状況であり、提供体制の充実が必要である。また、これに付随して観光パスポートの配布場所が限定的な状況であるため、令和5年度より新たに松本駅周辺のレンタカー会社6社の店頭での配布を追加し、利用振興を図っているところである。改訂版の観光パスポートにおいては、利用者の属性(年代や居住地等)や利用状況を把握する仕組みとし、現状分析や動向把握を図るとともに、さらなる周遊観光の促進につながるよう取り組んでいく必要がある。</p>					
	内容 (変更後の内容)	<p>(1)空港利用PR事業 信州まつもと空港への定期便が就航する神戸空港からの冬期における利用者の増加を図るため、飛行機による信州への旅の魅力や冬の信州観光等をテーマとしたPRイベントを開催する。 ○名称「神戸空港から信州まつもと空港までわずか1時間！まるごと信州フェアイベント」 ○時期等(時期)令和6年11月30日、12月1日(2日間)(場所)ニッケパークタウン(加古川市)</p> <p>(2)レンタカー利用振興事業 ア 冊子版「レンタカーDeぐるっ得パス」の配布による周遊観光振興(利用者データの収集) イ Webシステム登録・利用者対象「デジタルサンクスキャンペーン」の実施</p> <p>(3)ジェット化30周年を契機とした魅力発信事業 令和6年7月のジェット化30周年を契機とした空港及び松本地域の魅力を発信する物産・観光ブースの出店事業を行う。 ○時期等(時期)令和6年9月16日(月・祝)(場所)松本空港(出店者)管内市村</p>					
	事業期間	令和6年4月 ～ 令和7年3月					
事業費等	(単位:円)						
	事業を構成する細事業名等	実施内容	計画(実績)額	備考			
	空港PRイベント開催業務	職員旅費	143,100	宿泊費・食卓料(3泊4日)35,100円×4名+駐車料金2,700円			
	空港PRイベント開催業務	PR用特産品	99,600	ふじ194円×400個+シナノゴールド220円×100個			
	空港PRイベント開催業務	アンケート調査用ノベルティ	82,830	251円×300個+消費税			
	空港PRイベント開催業務	アンケート調査当選景品(5セット)	31,655	牛肉25,055円+配送料6,600円			
	空港PRイベント開催業務	ガソリン代	17,155	6,560円+10,595円			
	空港PRイベント開催業務	PRチラシ	66,000	66円×1,000部			
	空港PRイベント開催業務	PR用消耗品(つまようじ・ビニール袋)※りんごの試食・配布に使用	1,478	袋300枚(504円)+つまようじ3,200本(840円)+消費税			
	空港PRイベント開催業務	展示物品等郵送	50,820	(基本料22,110円+養生1,650円)×往復+時間外納品(往路)3,300円			
	空港PRイベント開催業務	法被クリーニング代	3,650	370円×4着+配送料160円 370円×5着+配送料160円			
	空港PRイベント開催業務	ETC使用料	19,220	松本IC⇄三木小野IC9,610円×往復			
	デジタルクーポンシステム管理業務	サーバー管理等業務委託	368,500	一式 契約額			
	クーポンブック増刷業務	印刷加工(3,000部)	306,900	一式 契約額			
	デジタルサンクスキャンペーン業務	キャンペーン実施委託	0	事業中止			
ジェット化30周年魅力発信業務	会場什器設置	143,000	テント・テーブル・椅子等レンタル一式				
ジェット化30周年魅力発信業務	チラシ制作	66,000	66円×1,000部				
合計			1,399,908				

各局負担額  
・松本：1,045,908円  
・上田：35,000円  
・諏訪：121,000円  
・木曽：58,000円  
・北777ス：72,000円  
・長野：68,000円

指標及び達成状況	成 果 指 標		目標値	成果	達 成 状 況
	信州まつもと空港利用者数		R5利用者以上	257,562人	○ 達 成 ● 一部達成 ○ 未 達 成
	就航先での空港PRイベント来場者アンケート調査による利用意向率		80%	92.8%	
	「ぐるっ得パス」デジタルクーポン利用件数		350件以上	129件	
事業実績・成果	(1) 空港利用PR事業 就航先である兵庫県で開催された空港利用・観光PRイベントに参加し、本局ではりんごの食べ比べ試食を実施しながら、立ち寄った2千人以上の方にチラシを配布する等PRを実施できた。同時に会場で行ったアンケート調査では、回答した1,350名のうち、92.8%は今後空港を利用して長野県を観光したいと回答があった。(神戸⇄松本の路線を知らなかったと答えた人は約75%)				
	(2) レンタカー利用振興事業 クーポンの利用数は129件であった。また、利用登録者にアンケートを実施したところ、空港を利用して来訪する方のほとんどは観光を目的としており、来訪前に観光ルートも決めているため、来訪後に突然クーポンパスを渡されても利用しづらいとのご意見を頂戴した。 (3) ジェット化30周年を契機とした魅力発信事業 管内8市村にご協力いただき、各市村や空港のPRを目的としたマルシェを開催した。延べ414名の方に特産物等を購入いただき、空港の賑わい創出や、松本地域の観光・特産、空港利用のPRに寄与できた。(売上は判明している6市村合計で282,640円であった。)				
今後の方向性		空港利用PR事業については、上記就航先イベント参加実績からも、路線の認知度が低いことやPR活動への反響が大きいことなどを踏まえ、継続的に実施していく。イベントへ参加しなくとも、PRチラシを県外協力店や他部署主催イベント等で配布してもらうなど、費用対効果を意識し実施する。 レンタカー利用振興事業は、利用件数が目標想定値に大幅に達しておらず、事業効果を発揮しているとは言い難い。上記実績からの課題を踏まえ、観光客の主目的地・ルートに即した店舗の拡充や、県外者へのクーポンパスの事前周知の強化などを行い、今後の継続性を検証して参りたい。			